

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分
 【発行日】平成20年7月3日 (2008.7.3)

【公表番号】特表2008-517454(P2008-517454A)
 【公表日】平成20年5月22日 (2008.5.22)
 【年通号数】公開・登録公報2008-020
 【出願番号】特願2007-536266(P2007-536266)
 【国際特許分類】

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

C 0 9 K 11/06 (2006.01)

【 F I 】

H 0 5 B 33/22 C

H 0 5 B 33/14 B

H 0 5 B 33/22 A

C 0 9 K 11/06 6 9 0

C 0 9 K 11/06 6 6 0

【手続補正書】
 【提出日】平成20年4月9日 (2008.4.9)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 5
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 0 5 】

US Patent 5128587 は、高い仕事関数を有する透明電極と低い仕事関数を有する第二電極との間に挟まれたランタニド系列の希土類元素の有機金属錯体、および、エレクトロルミネッセンス層と透明高仕事関数電極との間に置かれた正孔伝導層、および、エレクトロルミネッセンス層と電子注入低仕事関数アノードとの間に置かれた電子伝導層、から成るエレクトロルミネッセンスデバイスを開示している。正孔伝導層および電子伝導層は、デバイスの仕事と効率を改良するために必要である。正孔伝導層は、正孔を搬送して電子を阻止するように働く。その結果、キャリアの再結合が、主に発光層において起こる。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 8 2
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 8 2 】

被覆された電極は真空蒸着装置 (Edwards、 10^{-6} トール) に入れるまでの間は硫酸カルシウムを入れた減圧デシケータに保管し、アルミニウムの先端接点を形成した。LEDの活性領域を $0.08 \text{ cm} \times 0.1 \text{ cm}$ とし、デバイスはエレクトロルミネッセンス特性の実験が行われるまで減圧デシケータ内に保管した。